

2018年3月期
第2四半期決算説明会

業績レビューと各プロジェクトの進捗状況

タカラバイオ株式会社
2017年11月9日

目次

- 18/03期第2四半期業績
- 18/03期通期予想
- 各プロジェクトの進捗状況

18/03期第2四半期 業績（連結）

	18/03期 第2四半期	期初予想比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	14,126	+77	+0.6%	+927	+7.0%
売上原価	5,965	+12	+0.2%	+813	+15.8%
売上総利益	8,160	+64	+0.8%	+113	+1.4%
販売費及び 一般管理費	7,471	▲ 136	▲ 1.8%	+802	+12.0%
営業利益	688	+201	+41.3%	▲ 688	▲ 50.0%
経常利益	766	+242	+46.2%	▲ 677	▲ 46.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	302	+283	+1506.7%	▲ 364	▲ 54.6%

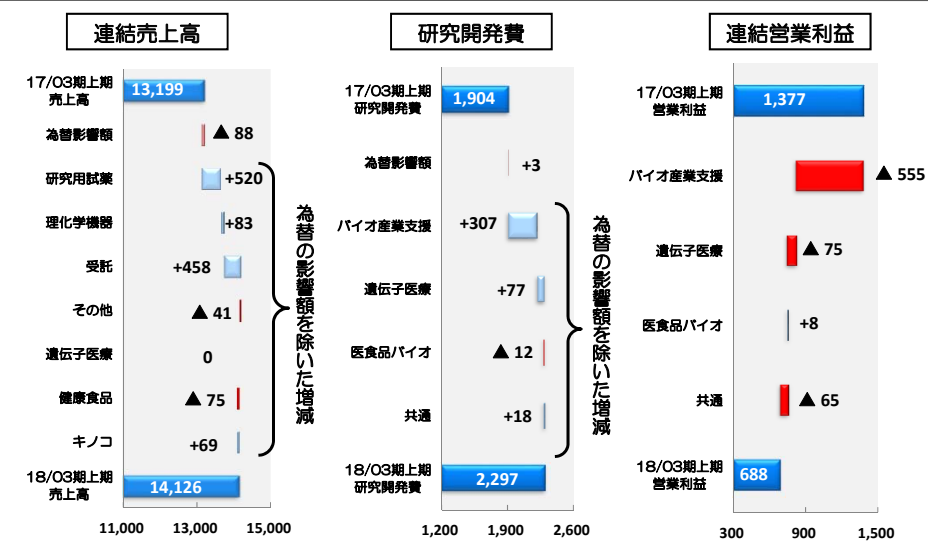
（百万円）

3

2018年3月期第2四半期決算説明会



18/03期第2四半期（連結）＜前期比増減＞



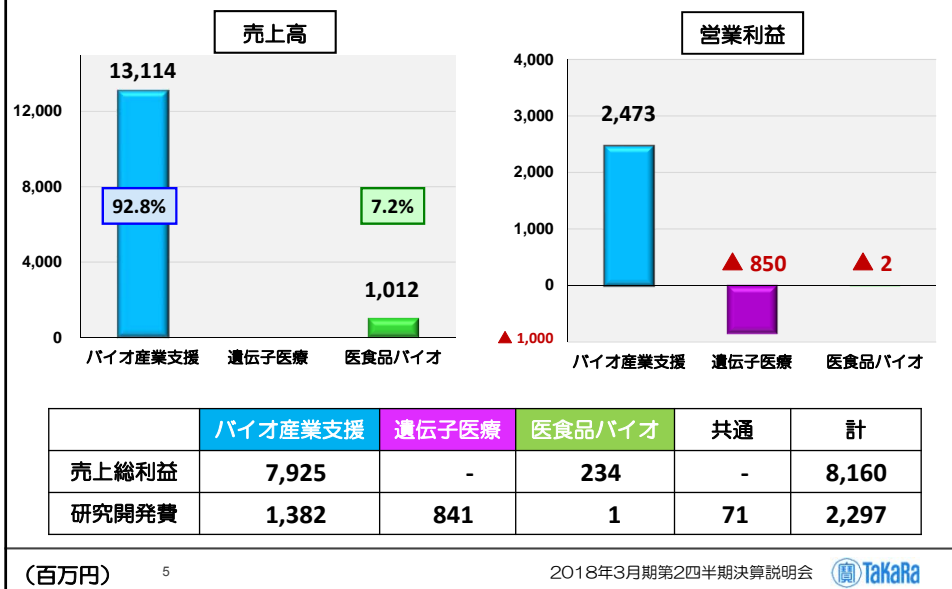
（百万円）

4

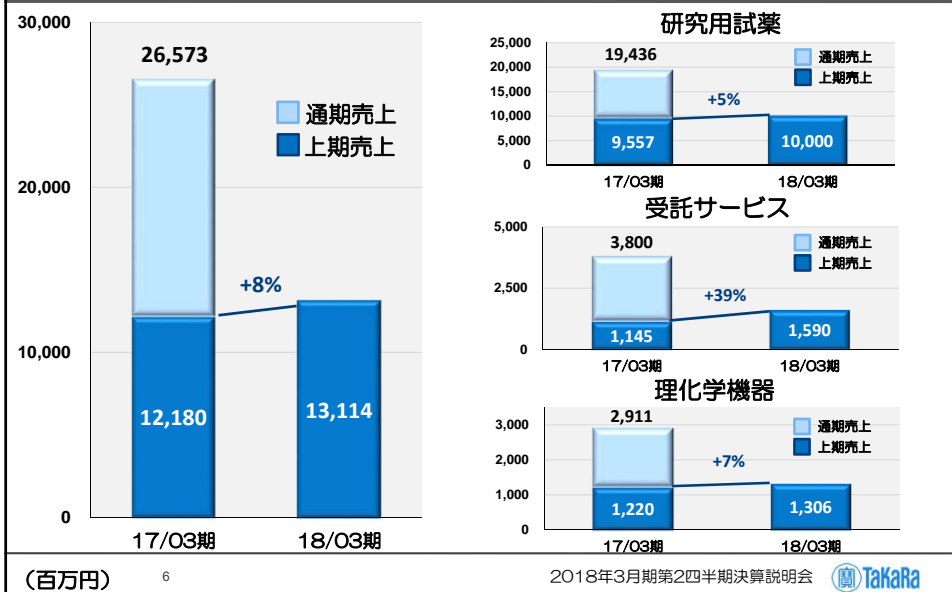
2018年3月期第2四半期決算説明会



18/03期第2四半期 事業セグメント情報（連結）



バイオ産業支援事業売上高（連結）



研究用試薬の外部売上高（連結） 海外売上高比率：76%

	17/03期 上期実績	18/03期 上期期初予想	18/03期 上期実績	前期比 (為替の影響除く)	期初予想比 (為替の影響除く)
日本	2,284	2,414	2,409	+124	▲ 4
米国	3,231	3,761	3,749	+497	▲ 256
欧州	1,219	1,353	1,136	▲ 55	▲ 270
中国	2,323	2,200	2,168	▲ 66	▲ 169
韓国	363	364	398	+18	▲ 9
印度	133	157	139	+1	▲ 27

前期比

- ◆ 米国：買収2社連結による増収
(+477百万円)
- ◆ 欧州：OEM品等減収
- ◆ 中国：細胞免疫療法用培地・バッグ減収
(▲276百万円)
Clontechブランド製品好調

期初予想比

- ◆ 米国：買収2社製品の計画未達
(▲293百万円)
- ◆ 欧州：OEM品等の計画未達
- ◆ 中国：PCR製品の計画未達

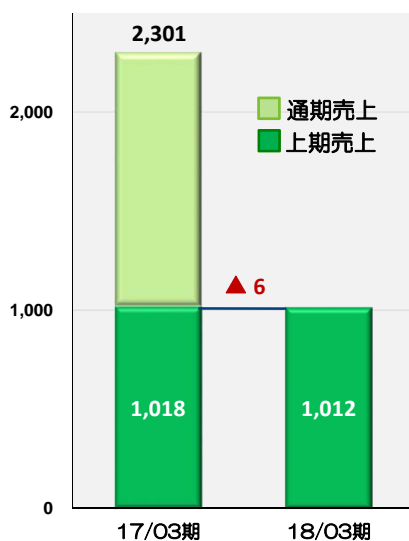
(百万円)

7

2018年3月期第2四半期決算説明会

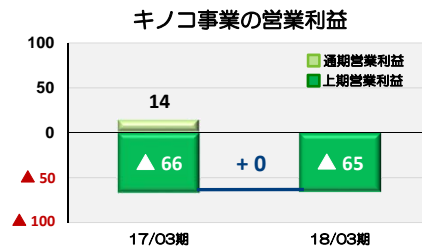
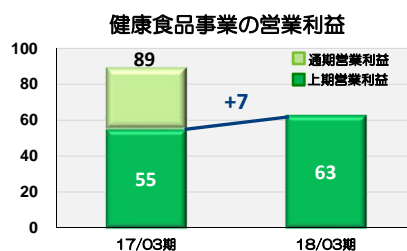


医食品バイオ事業売上高と各事業の営業利益（連結）



(百万円)

8




2018年3月期第2四半期決算説明会



目次

- 18/03期第2四半期業績
- 18/03期通期予想
- 各プロジェクトの進捗状況

9


2018年3月期第2四半期決算説明会 

18/03期 通期予想 売上高（連結）

	18/03期 通期予想	期初予想比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
バイオ産業支援	30,217	▲169	▲0.6%	+3,643	+13.7%
研究用試薬	22,331	▲174	▲0.8%	+2,894	+14.9%
理化学機器	2,945	▲405	▲12.1%	+34	+1.2%
受託	4,445	+299	+7.2%	+644	+17.0%
その他	494	+111	+29.3%	+69	+16.5%
遺伝子医療	500	-	-	-	-
医食品バイオ	2,282	▲30	▲1.3%	▲19	▲0.8%
健康食品	711	▲19	▲2.7%	▲130	▲15.5%
キノコ	1,570	▲10	▲0.7%	+111	+7.6%
売上高合計	33,000	▲200	▲0.6%	+3,624	+12.3%

(百万円)

10

2018年3月期第2四半期決算説明会 

18/03期 通期予想（連結）

	18/03期 通期予想	期初予想比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	33,000	▲200	▲0.6%	+3,624	+12.3%
売上原価	14,318	+91	+0.6%	+1,895	+15.3%
売上総利益	18,681	▲291	▲1.5%	+1,728	+10.2%
販売費及び 一般管理費	15,180	▲491	▲3.1%	+1,430	+10.4%
営業利益	3,500	+200	+6.1%	+297	+9.3%
経常利益	3,800	+200	+5.6%	+221	+6.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,000	+150	+8.1%	+647	+47.9%

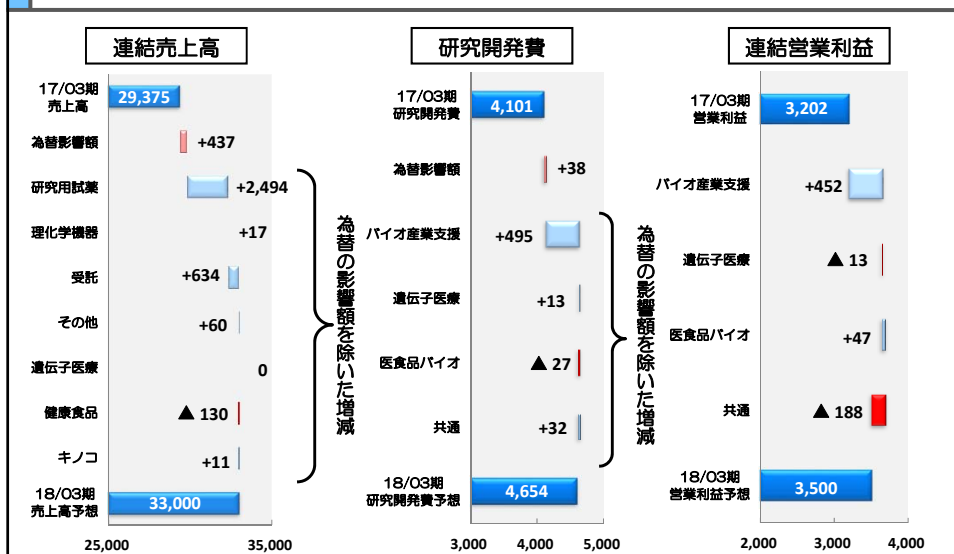
(百万円)

11

2018年3月期第2四半期決算説明会



18/03期 通期予想（連結） <前期比増減>



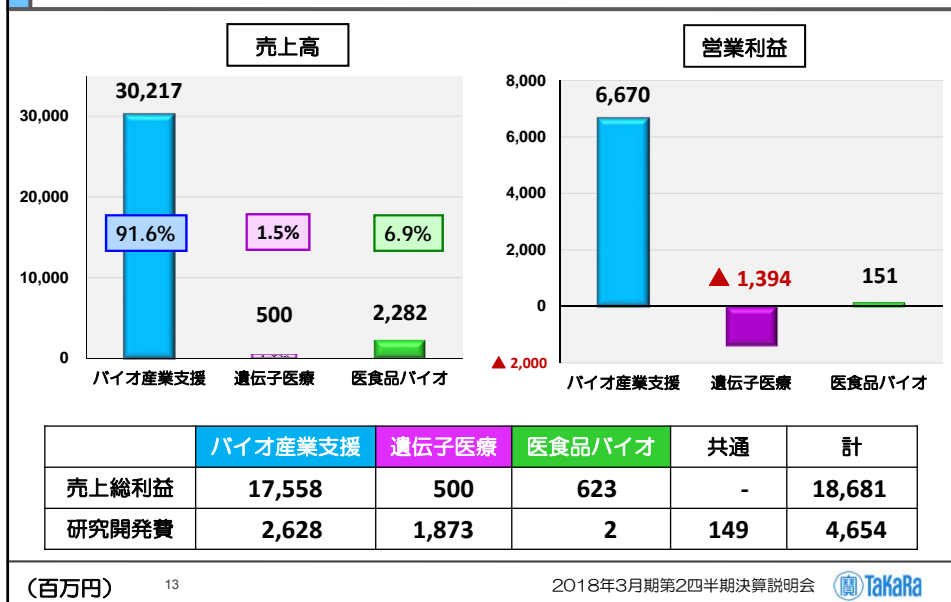
(百万円)

12

2018年3月期第2四半期決算説明会



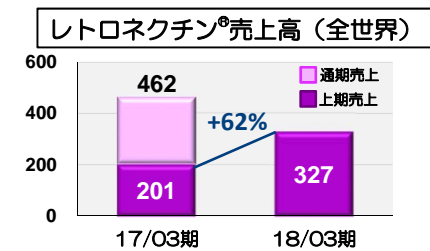
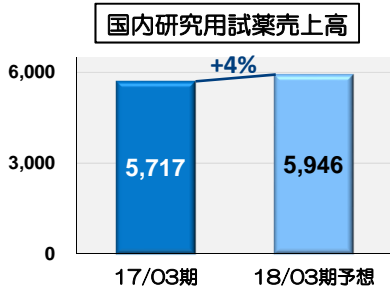
18/03期 通期予想 セグメント情報（連結）



目次

- 18/03期第2四半期業績
- 18/03期通期予想
- 各プロジェクトの進捗状況

バイオ産業支援事業 ① 研究用試薬類の国内事業の強化



- ◆ Applied Field 分野製品：
マイコプラズマ・ウイルス検出
キットなどの拡充



- ◆ 超微量核酸解析技術を応用し
たNGS関連製品の拡販
- ◆ 幹細胞関連製品の新製品開発・
アプリケーションデータ取得
- ◆ 京都大学iPS細胞研究所と
iPS細胞由来消化器系細胞に
関する共同研究を開始

(百万円)

15

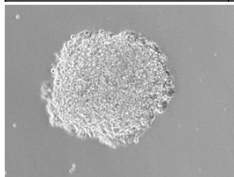
2018年3月期第2四半期決算説明会



バイオ産業支援事業 ② iPS細胞関連基盤技術の開発

MV (麻疹ウイルス) ベクターの特徴

	エピソーマルベクター (プラスミド)	センダイウイルス ベクター (パラミクソウイルス)	MVベクター (パラミクソウイルス)
伝播性がない (ウイルスが拡散しない)	○	○	○
導入遺伝子が染色体へ 組み込まれない	△	○	○
導入可能な遺伝子	○ (17kb程度まで)	△ (5kb程度まで)	○ 分節化により複数の 遺伝子を搭載可能
iPS細胞の誘導効率	○ (0.1~1%程度) *	○ (0.1~1%程度) *	△ (~0.1%)



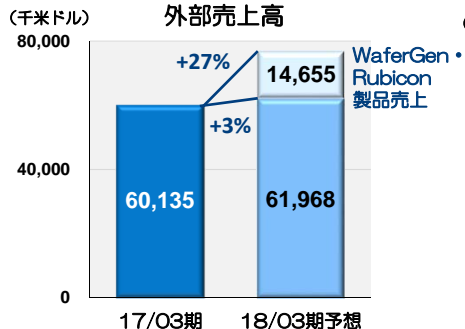
MVベクターを用いて作製した
ヒトiPS細胞

- ◆ 東京大学医科学研究所・感染症研究所との
共同研究により、導入遺伝子サイズや
iPS細胞誘導効率の向上をさらに図る。

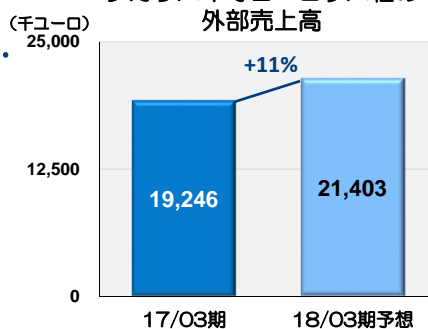
※: Schlaeger, T.M., et al. A comparison of non-integrating reprogramming methods. Nat Biotechnol 2015 Jan;33:58-63

バイオ産業支援事業 ③ 米国・欧州での事業展開の加速

タカラバイオUSA社の
外部売上高



タカラバイオヨーロッパ社の
外部売上高



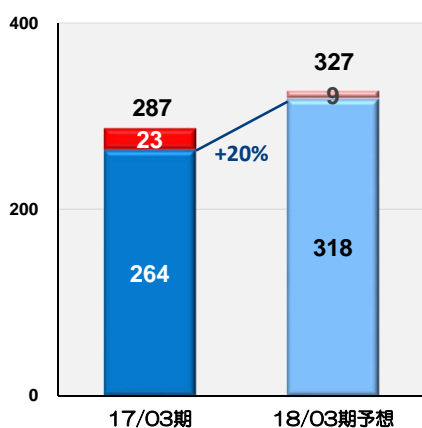
- ◆ 旧WaferGen社・Rubicon社製品
通期売上予想：14,655千米ドル
- ◆ 買収シナジー効果の最大化
- ◆ 超微量核酸解析分野の新製品開発
- ◆ 米政府の科学研究政策への懸念

- ◆ Cellartisブランド製品の販売促進
- ◆ 幹細胞作製受託サービス強化
- ◆ シングルセル解析システムの
デモルーム開設（スウェーデン）
- ◆ 直販体制の強化

17

2018年3月期第2四半期決算説明会

バイオ産業支援事業 ④ 研究用試薬類の中国市場での拡販



- 細胞培養用培地・バッグ
- バイオ産業支援事業売上 (細胞培養用培地・バッグ除く)

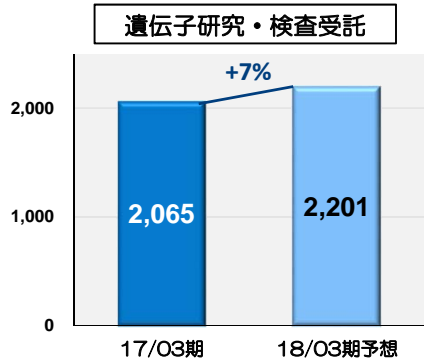
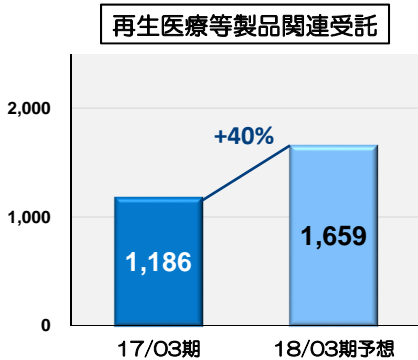
- ◆ 中国当局の細胞免疫療法に対する方針変更の影響
細胞培養用培地・バッグ売上予想
前期比：▲ 14百万元
- ◆ Applied Field分野製品の拡販
- ◆ 診断薬メーカーなどの企業向け
酵素バルク販売の拡大
- ◆ 北京公司を拠点とした
効率的な物流へ再編
- ◆ 製造に特化した大連公司の
コストダウン効果の最大化

(百万円)

18

2018年3月期第2四半期決算説明会

バイオ産業支援事業 ⑤ CDMO事業の拡充推進



- ◆ 川崎市殿町地区
ライフイノベーションセンター内
細胞調製室での受託サービス開始
- ◆ 海外企業からの受託も開始

- ◆ クリニカルシーケンス解析の強化
(CAP-LAPに準拠した
臨床検査サービス)
- ◆ 再生医療等製品の品質試験の拡充

(百万円)

19

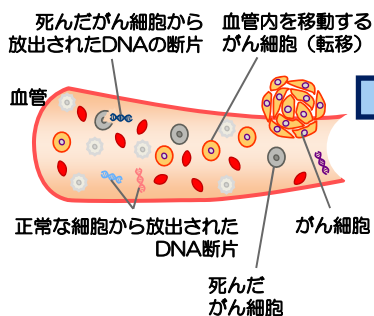
2018年3月期第2四半期決算説明会



バイオ産業支援事業 ⑥ クリニカルシーケンス分野への注力

大阪大学とゲノム医療推進に関する連携推進協定を締結

リキッドバイオプシーによる プレジジョンメディスン



【WaferGen社製品】
次世代シーケンス用
ライブラリー作製



【受託サービス】
次世代シーケンス解析
(遺伝子変異・異常検出)



【Rubicon社製品】
遺伝子 (DNA・RNA)
抽出・精製

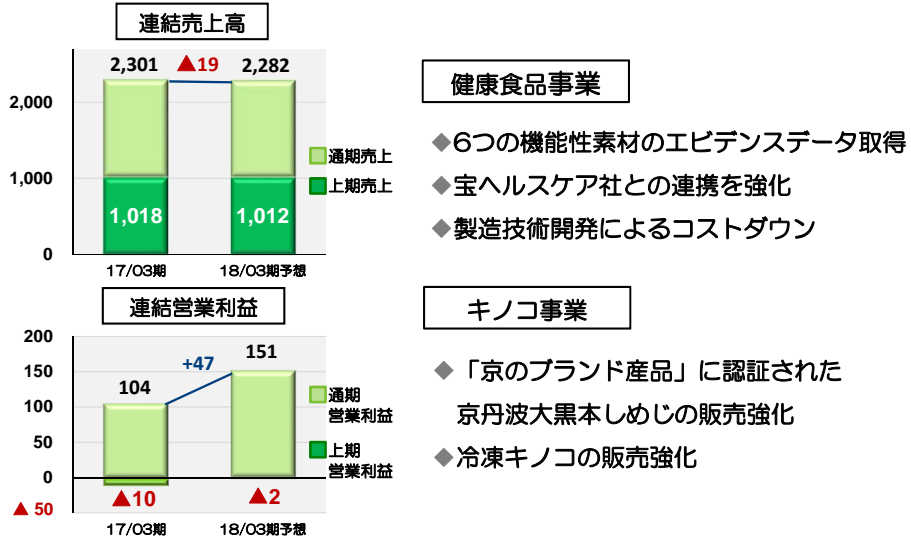
患者の遺伝子変異・
異常を解析して、
適切な治療法を選択

20

2018年3月期第2四半期決算説明会



医食品バイオ事業 健康食品事業、キノコ事業



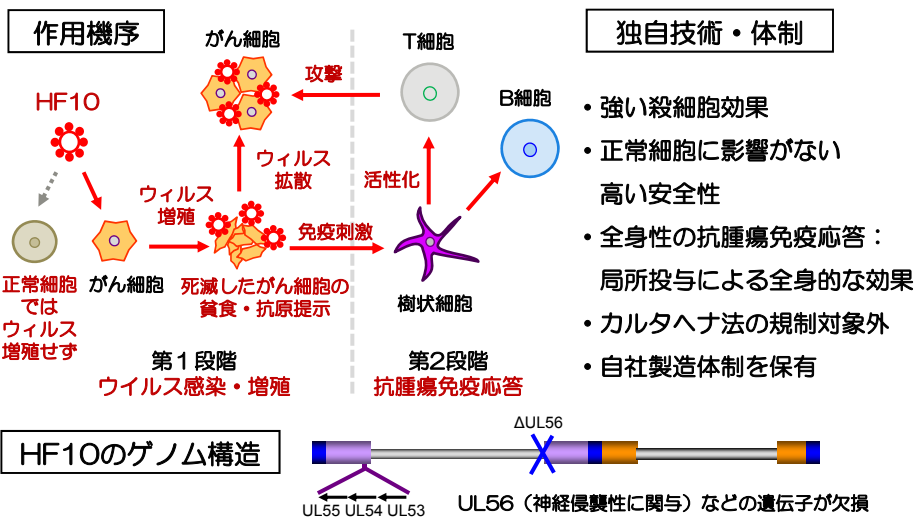
(百万円)

21

2018年3月期第2四半期決算説明会



遺伝子医療事業 ① 腫瘍溶解性ウイルスHF10の特徴

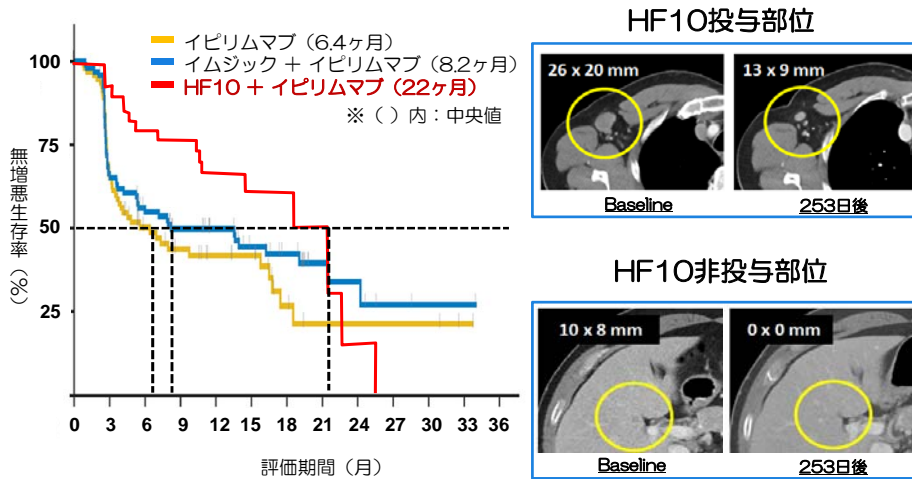


22

2018年3月期第2四半期決算説明会

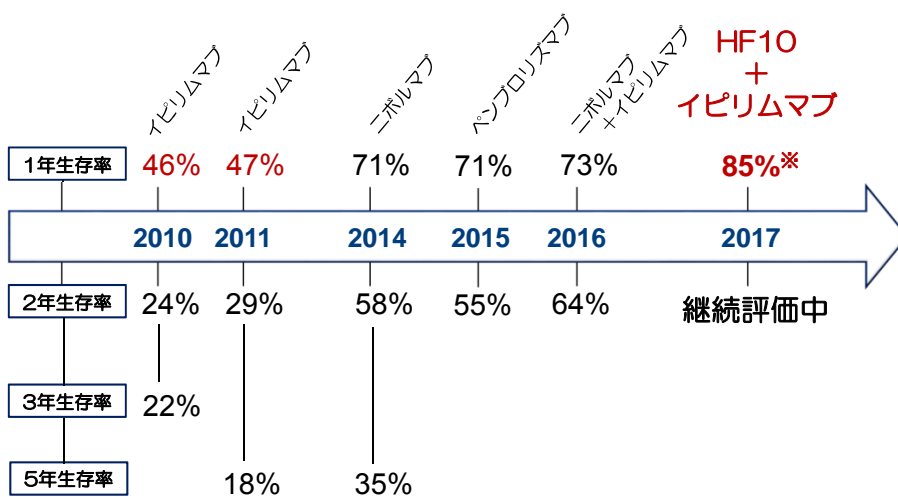


HF10プロジェクト 転移性悪性黒色腫への腫瘍縮小効果



※ Andtbacka R.H. The 9th World Congress of Melanoma (2017年:オーストラリア) 発表資料より改変

HF10プロジェクト 各種治療法の転移性悪性黒色腫の全生存率 (Overall Survival)



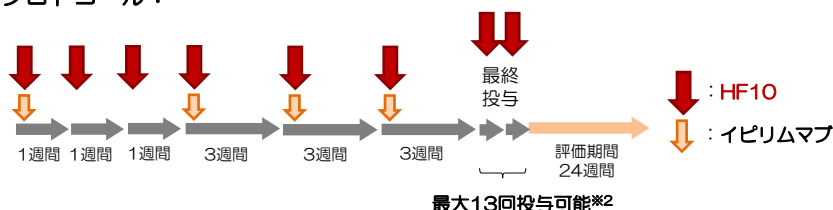
※ Long GV. American Society of Clinical Oncology 2017 (2017年:アメリカ) 発表資料より改変

HF10プロジェクト 悪性黒色腫に対する国内第Ⅱ相臨床試験

第Ⅱ相臨床試験（国内）

承認取得目標：2019年3月期

- 対象患者：
根治切除不能又は転移性悪性黒色腫（Stage ⅢB、ⅢC及びⅣ）
- 目標症例数：25例（投与20例）
- 実施施設：国立がん研究センター中央病院他、全12施設
- 投与方法・用量： 1×10^7 TCID₅₀/mL^{※1} × 6回（イピリムマブの併用）
- プロトコール：



※1：Median tissue culture infectious dose "50%の細胞に感染するウイルス量"

※2：治験治療が忍容可能で、治療反応性が見られるか、SDであるか、もしくは臨床重要でないPDである患者の場合

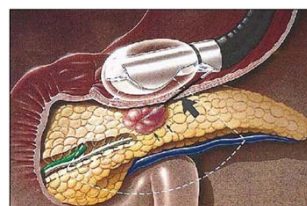
25

2018年3月期第2四半期決算説明会

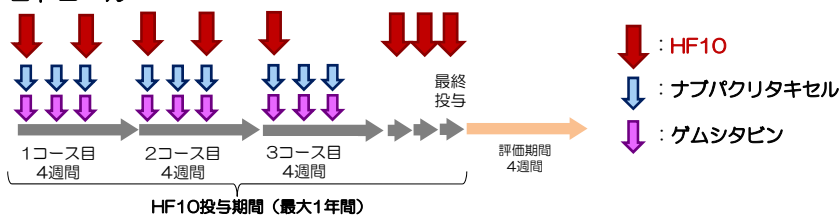
HF10プロジェクト 膵がんに対する国内第Ⅰ相臨床試験

第Ⅰ相臨床試験（国内）

- 対象患者：切除不能な膵がん（Stage Ⅲ又はⅣ）
- 目標症例数：6例（投与2例）
- 実施施設：神奈川県立がんセンター・
国立がん研究センター東病院
- 投与方法・用量：
コホート1： 1×10^6 TCID₅₀/mL × 5回
コホート2： 1×10^7 TCID₅₀/mL × 5回
（ゲムシタピン及びナブパクリタキセルの併用）
- プロトコール：



超音波内視鏡による投与の模式図[※]



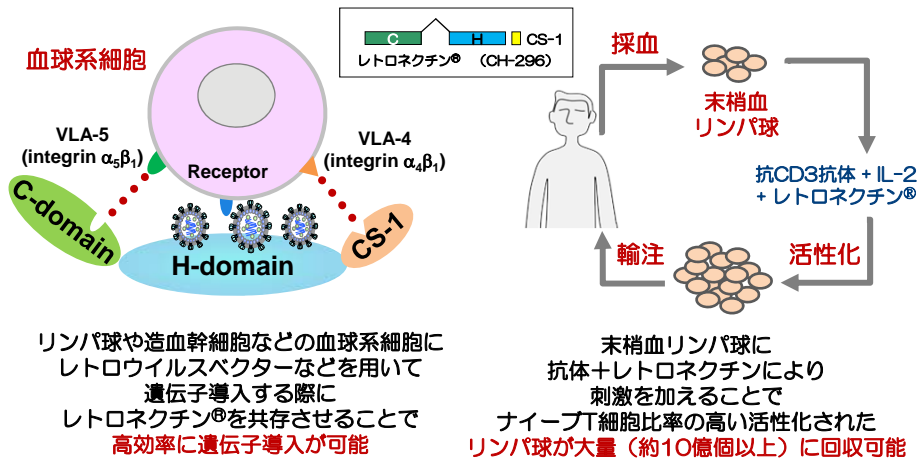
26

※ Kasuya H. 第54回日本癌治療学会学術集会発表資料

遺伝子医療事業 ② 独自技術レトロネクチン®の活用

レトロネクチン®高効率遺伝子導入法

レトロネクチン®誘導細胞拡大培養法

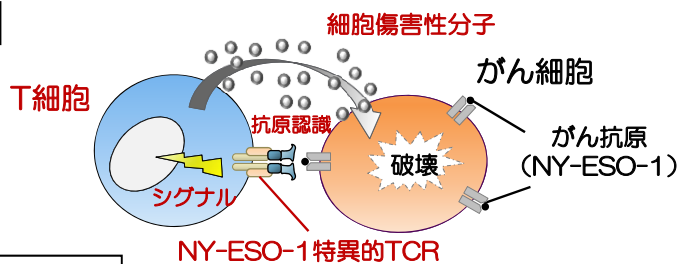


27

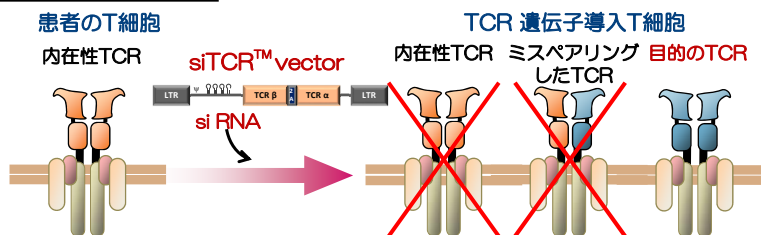
2018年3月期第2四半期決算説明会

遺伝子医療事業 ③ NY-ESO-1・siTCR™遺伝子治療の特徴

作用機序



siTCRベクター技術

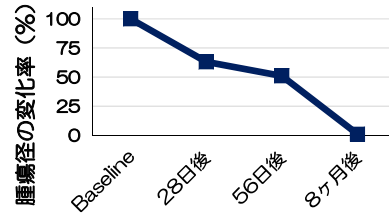


28

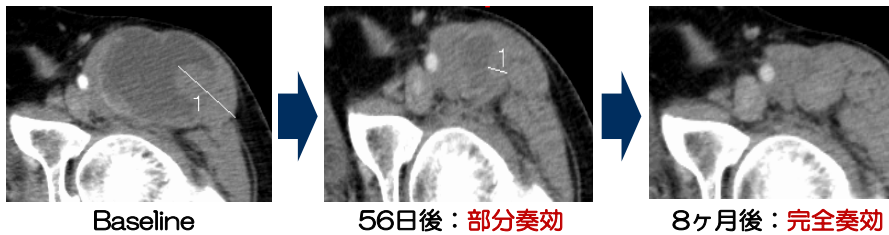
2018年3月期第2四半期決算説明会

NY-ESO-1・siTCR™プロジェクト 固形がんに対する医師主導治験

コホート	疾患	腫瘍縮小効果 (56日)
低用量コホート (5×10^8 cells) 全3例	乳癌	進行
	滑膜肉腫	安定*
	右耳下腺癌	安定
高用量コホート (5×10^9 cells) 全3例	滑膜肉腫	部分奏効
	滑膜肉腫	部分奏効
	悪性黒色腫	安定



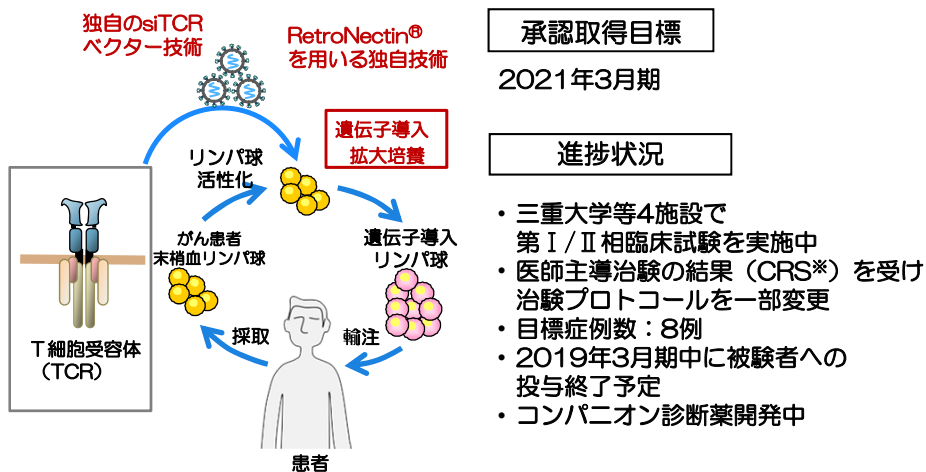
※対象腫瘍が非常に微小



29

米※第21回がん免疫学会（2017年）三重大学発表資料より編集 TakaRa

NY-ESO-1・siTCR™プロジェクト 滑膜肉腫に対する国内第 I / II 相臨床試験



承認取得目標

2021年3月期

進捗状況

- 三重大学等4施設で第 I / II 相臨床試験を実施中
- 医師主導治験の結果 (CRS*) を受け治験プロトコルを一部変更
- 目標症例数：8例
- 2019年3月期中に被験者への投与終了予定
- コンパニオン診断薬開発中

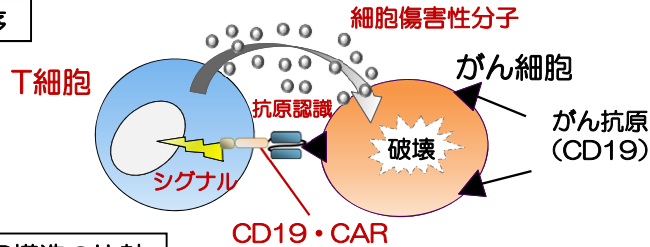
※ サイトカイン放出症候群

30

2018年3月期第2四半期決算説明会 TakaRa

遺伝子医療事業 ④ CD19・CAR遺伝子治療の特徴

作用機序



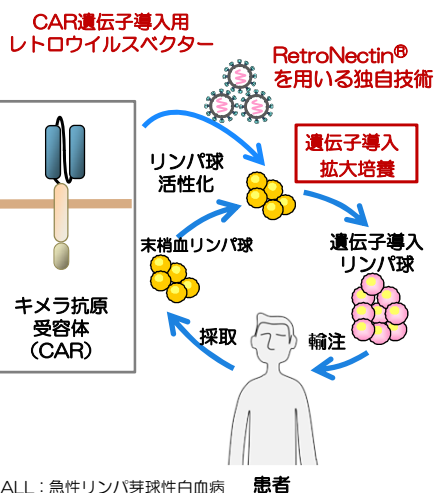
各社CAR構造の比較

	Juno Therapeutics	Kite Pharma	Novartis	タカラバイオ
ベクター	レトロウイルス	レトロウイルス	レンチウイルス	レトロウイルス
scFv				
細胞膜				
シグナルドメイン				

31

2018年3月期第2四半期決算説明会

CD19・CARプロジェクト 成人ALLに対する国内第 I / II 相臨床試験



承認取得目標

2021年3月期

進捗状況

- 自治医科大学等6施設で第 I / II 相臨床試験を実施中
- 目標症例数：21例
- 海外の有害事象（CRSや中枢神経毒性）を受け、当局と対応を協議
- PMDA等を交えた安全性に関する情報交換会を開催
- 2019年3月期中に被験者への投与終了予定

※ALL：急性リンパ芽球性白血病 患者

32

2018年3月期第2四半期決算説明会


遺伝子医療事業の開発パイプライン

自社単独開発プロジェクト			対象疾患	現状	商業化目標	
Oncolytic Virus	HF10 (TBI-1401)		日本	悪性黒色腫	Phase II 進行中	2019年3月期
Engineered T cell Therapy	siTCR	NY-ESO-1 (TBI-1301)	日本	滑膜肉腫	Phase I / II 進行中	2021年3月期
	CAR	CD19・CAR (TBI-1501)	日本	成人ALL*	Phase I / II 進行中	2021年3月期

ALL：急性リンパ芽球性白血病

提携プロジェクト			対象疾患	現状	提携先	
Oncolytic Virus	HF10 (TBI-1401)		日本	肺臓がん	Phase I 進行中	大塚製薬(株)
			米国	悪性黒色腫	Phase III 計画中	-
Engineered T cell Therapy	siTCR	NY-ESO-1 (TBI-1301)	日本	食道がん など	Phase I 進行中	-
		MAGE-A4 (TBI-1201)	日本	食道がん など	Phase I 進行中	-
	CAR	CD19・CAR (TBI-1501)	日本	小児ALL	計画中	-

33


2018年3月期第2四半期決算説明会 

将来の見通しに関する注意事項

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問合せ先：広報・IR部
E-mail: bio-ir@takara-bio.co.jp


34

2018年3月期第2四半期決算説明会 

参考資料

- 18/03期 第2四半期 売上高（連結）
- 会社別業績（H18/03期）
- 事業セグメント別業績（18/03期）
- 研究用試薬の外部売上高（18/03期）

35

2018年3月期第2四半期決算説明会 


【参考資料】

18/03期第2四半期 売上高（連結）

	18/03期 第2四半期	期初予想比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
バイオ産業支援	13,114	+58	+0.4%	+933	+7.7%
研究用試薬	10,000	▲ 271	▲ 2.6%	+443	+4.6%
理化学機器	1,306	+225	+20.8%	+85	+7.0%
受 託	1,590	+91	+6.1%	+444	+38.8%
そ の 他	217	+13	+6.4%	▲ 40	▲ 15.7%
遺伝子医療	-	-	-	-	-
医食品バイオ	1,012	+18	+1.9%	▲ 6	▲ 0.6%
健康食品	350	+24	+7.4%	▲ 75	▲ 17.8%
キノコ	661	▲ 5	▲ 0.8%	+69	+11.8%
売上高合計	14,126	+77	+0.6%	+927	+7.0%

(百万円)

36

2018年3月期第2四半期決算説明会 

【参考資料】

会社別業績（18/03期）

	従業員数**	17/03期実績		18/03期予想	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益
タカラバイオ（単体）	456	19,422	229	21,136	894
瑞穂農林	27	695	16	728	22
タカラバイオ・ミツギセンター	-	16	4	26	8
きのこセンター金武	8	191	8	203	14
Takara Bio Europe SAS*	39	2,330	276	2,746	268
Takara Bio Europe AB*	34	356	▲194	507	▲63
宝生物工程(大連) *	512	5,000	2,034	3,491	801
宝日医生物技術（北京） *	77	2,211	61	5,426	709
Takara Korea Biomedical *	24	835	117	983	142
DSS Takara India Pvt. Ltd. *	53	318	▲0	351	▲5
Takara Bio USA Inc.*	198	8,236	1,849	10,853	1,154
Takara Bio USA Holdings Inc.*	-	-	▲712	-	▲49

（百万円）

** 従業員数は、2017年9月30日現在

* 決算期が1-12月であり、数値は各年1-12月実績

【参考資料】

事業セグメント別業績（18/03期）

<18/03期 予想>	バイオ産業支援	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
売上高	30,217	500	2,285	▲2	33,000
売上総利益	17,558	500	623	-	18,681
販売費及び一般管理費	10,888	1,894	471	1,927	15,180
内、研究開発費	2,628	1,873	2	149	4,654
営業利益	6,670	▲1,394	151	▲1,927	3,500
<17/03期 実績>	バイオ産業支援	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
売上高	26,573	500	2,307	▲5	29,375
売上総利益	15,859	500	593	-	16,952
販売費及び一般管理費	9,641	1,880	488	1,739	13,749
内、研究開発費	2,094	1,860	29	116	4,101
営業利益	6,218	▲1,380	104	▲1,739	3,202

（百万円）

38

2018年3月期第2四半期決算説明会



【参考資料】

研究用試薬の外部売上高（18/03期）

	17/03期 実績	18/03期 予想	前期比	為替の影響 (前期比)	前期比(為替の 影響除く)
日本	5,717	5,946	+228	-	+228
米国	6,223	7,896	+1,673	+190	+1,482
欧州	2,335	2,562	+226	+115	+111
中国	4,138	4,797	+659	+40	+618
韓国	744	833	+88	+36	+52
印度	276	295	+18	+17	+1

(百万円)

39

2018年3月期第2四半期決算説明会

